

東三河地域の観光

国土交通省による全国幹線旅客純流動調査より、2005年と2010年の東三河地域を中心とした観光目的（全機関）での旅客動向を比較してみると、東三河地域から遠州地域への流出が63.3%から56.9%へ減少し、遠州地域から東三河地域への流入も68.2%から49.6%へ減少した。東三河地域から南信州地域への流出割合は横這いであるのに対し、南信州地域から東三河地域への流入は10.1%から13.7%へ増加した。東三河地域からその他地域への流出は23.5%から30.0%へ増加、その他地域から東三河地域への流入についても21.7%から36.8%へ増加した。以上から依然として東三河地域と遠州地域とのつながりが強いことがいえる。一方で、東三河地域と三遠南信地域以外との関わりが強まっていることも言える。

三遠南信地域における観光を目的とした流動状況（全機関）

2005年 休日の流動状況

2010年 休日の流動状況



※注：各地域内での人の流動は含まれていない
 出典：全国幹線旅客純流動調査（国土交通省）

最近のイベント ～B-1グランプリ in 豊川～

平成25年11月9日（土）、10日（日）にご当地グルメによるまちおこしの祭典、第8回「B-1グランプリ in 豊川」が、東三河地域の豊川市で開幕され、2日間で計58万1千人が全国から集まった。今回は全国各地から過去最多となる64団体が参加し、朝から大勢の客が詰めかけ、お目当ての団体のテントの前に長い列を作った。開催準備は1年前から始まり、準備期間を通じて地域の魅力をPRした。B-1グランプリは親しみやすいB級グルメを通じての「まちおこし」をコンセプトにしており、豊川市のみならず、周辺の市町村への経済効果をもたらした。



■東三河の主な観光資源

東三河地域は奥三河の山や森、中心を流れる豊川、太平洋・三河湾の海など自然豊かな地域であり、またこの地域は戦国時代の古戦場としても有名で歴史的資源や祭りが豊富にある。その他大人から子供まで遊べるテーマパークなどもある。



■愛知県観光資源利用者数推移

(単位：人)

順位	市町村名	観光資源名	H22年	H23年	H24年	種別
1位	豊川市	豊川稲荷	2,370,000	2,707,000	3,320,000	歴史・文化
2位	蒲郡市	ラグーナ蒲郡	2,935,960	2,899,500	2,781,500	スポーツ・レクリエーション
3位	豊川市	豊川稲荷初詣	1,050,000	1,100,000	1,180,000	行祭事
4位	豊橋市	豊橋総合動植物公園	683,279	671,928	687,789	歴史・文化
5位	田原市	伊良湖クリスタルポルト	621,565	607,104	640,156	都市型観光・買物食事
6位	田原市	めっくんはうす	556,081	574,695	605,835	都市型観光・買物食事
7位	蒲郡市	蒲郡オレンジパーク	668,589	605,121	578,963	歴史・文化
8位	豊橋市	豊橋まつり	540,000	495,000	550,000	行祭事
9位	新城市	愛知県民の森	562,757	482,519	489,139	スポーツ・レクリエーション
10位	田原市	サンテパルクたはら	450,391	447,923	453,436	スポーツ・レクリエーション
11位	蒲郡市	竹島園地	390,857	349,944	365,683	自然
12位	蒲郡市	三谷温泉	363,609	345,083	329,554	温泉・健康
13位	豊根村	芝桜まつり	307,000	266,000	313,030	行祭事
14位	蒲郡市	西浦温泉	299,202	312,508	310,206	温泉・健康
15位	新城市	鳳来寺山(天候に恵まれたため)	-	63,854	272,559	自然

出展：愛知県観光レクリエーション利用者統計（愛知県産業労働部観光コンベンション課）